



福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう131

ルリタテハ

分類：チョウ目 タテハチョウ科

大きさ：25～45mm

住んでいる環境

・ 雑木林などの周辺

小鳥の森で見られる時期

・ 3月～11月

小鳥の森で見られる場所

・ 園内全域



きしもと しゅん さん (11才) が描いてくれました。

3月 いきもの森予報

春への準備

寒さが和らぐ3月。様々な生き物たちが陽の暖かさにつられて目を覚まし始める季節です。

小鳥の森ではニホンアカガエルが他のカエルに先立って活動をスタートさせます。草むらや森林など地上で暮らすこのカエルは、大きさは3.5～7.5cmほど、赤茶色で顔立ちはシュッと尖っています。目の後ろからお尻にかけて真っ直ぐに伸びる2本の線（背側線）がトレードマークです。

しかし一番の特徴は卵を産む時期。雪や霜がまだ残る早春に冬眠から目覚め、池や田んぼなどの浅い水辺などまで移動し産卵します。途中で凍死してしまうリスクもありますが、冬眠中の天敵に襲われにくく、他の生き物とのエサの取り合いが少ないため、子孫の生き残りを有利にしています。

産卵を終えた親カエルは、また落ち葉などの下に潜り、暖かな春になるまで二度寝をします。ユニークな生活スタイルですね。

森の水辺を散策する時は、こんもり山のように産みつけられた卵の塊を探してみてくださいね。



ニホンアカガエル



ニホンアカガエルの卵

雪の降った後は

冬の冷え込みがピークを迎えた2月。小鳥の森でも10日～11日にかけての大雪で積雪25cmを観測しました。

雪に覆われた林内では、木から木へエサを探して移動するシジユウカラやエナガなどの混群が目立ち、木の下などの雪が薄い場所ではシメやシロハラなどが落ちている種子をついばむ場面にも遭遇しました。食事のシーンだけでなく、枝に止まって日向ぼっこをしているような姿や鳴く姿などバラエティに富んだ格好を見ることができました。

2月も後半になると、最高気温が10℃を超える暖かな日も。立春を迎え、日の出ている時間も増えました。冬の季節は終盤へ向かっているようです。



シロハラ



地面で餌を探すシメ

スタッフだより

ウグイスの初鳴き

「ホ～ホケキョ」。ウグイスの鳴き声は春が来たことを知らせてくれます。「春告鳥（はるつげどり）」とも呼ばれ、春の使者として昔から親しまれてきました。

野鳥の鳴き声は、一年を通して鳴く「地鳴き」と主に春から夏の繁殖期に出す「さえずり」があります。さえずりには縄張りを守るためやメスを呼び寄せるための役割があり、一般的にオスがさえずります。

「ホ～ホケキョ」はこのさえずりに当てはまります。

ウグイスがその年に初めて鳴く「初鳴き」を南から辿ってみましょう。沖縄では1月下旬。九州や四国、関東地方の一部で2月下旬。東北では3月中旬。北海道では約4月下旬になるようです。沖縄と北海道では約3ヶ月も違いますね。

小鳥の森の2022年の初鳴きは3月9日でした。今年はいつでしょうね。

(レンジャー ながとまゆみ)

イベントのお知らせ

森のお仕事見学会と体験会

3月12日（日）に「森のお仕事見学会と体験会」を行います。当日は森林に適した状態に保つプロの方を講師に招き、樹木の伐採や森の管理の様子を見学していただきます。

また実際に体験もしていただき、身近な森林の手入れの必要性や面白さなどを学べる貴重な機会となっております。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：3月12日（日）午前10時～12時

定員：※先着順

親子（小学生以上）7組

参加費：無料

持ち物：汚れてよい服装、防寒着、軍手

申込方法：ネイチャーセンターまで

お問い合わせください

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2023年3月号№442 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま 小鳥の森HP

